

9/22日(土) 首里城公園 中秋の宴 演目プログラム 9/23日(日)

琉球舞踊【古典】第一部 18:30~18:50(20分)

【演目】若衆こてい節(わかしゅくていぶし)
作田(ちくてん)

■舞踊・地謡…… 沖縄県立芸術大学 琉球芸能専攻
〈準備及び休憩5分〉

人間国宝の演奏 18:55~19:30(35分)

【出演者】 【演目】
■城間徳太郎…… 独唱「仲村渠節」(なかなかりぶし)
■西江喜春…… 独唱「二揚 仲風節」(にあぎなかつうぶし)
■照喜名朝一…… 独唱「茶屋節」(ちややぶし)
〈準備及び休憩5分〉

人間国宝の演奏と舞踊 19:35~19:45(10分)

【演目】前之浜(めーぬはま)
■舞踊… 宮城能風
■地謡… 照喜名朝一、城間徳太郎、西江喜春、比嘉 聰
〈準備及び休憩10分〉

組踊 19:55~20:35(40分)

【演目】女物狂(うんなむねぐるい)
■立方・地謡…… 沖縄県立芸術大学 琉球芸能専攻
〈準備及び休憩10分〉

琉球舞踊【古典】第二部 20:45~21:00(15分)

【演目】葎引(うーびち)
醜童(しゅんどう)
■舞踊・地謡…… 沖縄県立芸術大学 琉球芸能専攻

琉球舞踊【古典】第一部 18:30~18:45(15分)

【演目】かぎやで風(かじやていふう)、かせかけ(かしかけ)
■舞踊…… 玉城流金城清一組踊会
■地謡…… 安富祖流絃聲会
〈準備及び休憩5分〉

首里城祭「国王・王妃公開選出大会」
主催:首里城祭実行委員会 18:50~19:20(30分)

今年度開催される首里城公園の行事に参加する新しい国王・王妃の選出大会を行います。新しい国王・王妃は「琉球王朝絵巻行列」や「新春の宴」等に参加します。
〈準備及び休憩5分〉

組踊 19:25~20:05(40分)

【演目】万歳敵討(まんざいていちうち)
■立方…… 玉城流金城清一組踊会
■地謡…… 安富祖流絃聲会
〈準備及び休憩10分〉

首里城祭「国王・王妃公開選出大会」結果発表
主催:首里城祭実行委員会 20:15~20:40(25分)

〈準備及び休憩5分〉

琉球舞踊【古典】第二部 20:45~21:00(15分)

【演目】上り口説(ぬぶいくどうち)、瓦屋(からやー)
■舞踊…… 玉城流金城清一組踊会
■地謡…… 安富祖流絃聲会

首里城祭「国王・王妃」記念撮影
主催:首里城祭実行委員会 21:00~21:05(5分)

※プログラムの時間はおおよその目安となっております。スケジュールは変更になる場合がございますので、予めご了承ください。※奉神門は21時半、木曳門は22時に開門します。



※9月22日、23日の両日、有料区域は17時に閉鎖します(入館券販売締切は16時30分)。また、17時の定時案内(首里城無料ガイド)はございませんので、予めご了承ください。※16時の「舞への誘い」は15時半に変更になります。

公園までのご案内 ※座席、収容人数に限りがありますので、早めのご来場をおすすめいたします
●路線バス:首里城公園入口バス停にて下車(徒歩約5分)
●モノレール(ゆいレール):首里駅又は儀保駅にて下車(徒歩約15分)
●駐車場に限りがありますので、バス、タクシー、モノレール等をご利用下さい。

お問い合わせ
首里城公園 管理センター TEL.098-886-2020
<http://oki-park.jp/shurijo/>



9月22日(土)
人間国宝の「至芸」
五人の人間国宝が古典芸能を披露!

平成30年
9月22日(土)
23日(日)

入場無料
【場所】首里城公園
御庭特設ステージ
【時間】18時30分~21時
(開場18時15分)

中秋の月下、華麗な宴に酔いしれる

中秋の宴

首里城公園

ちゅうしゅうのうたげ



首里城公園 SHURIJO CASTLE PARK

※正殿は塗り直し作業中のため、足場がかかっております。ご了承ください。
※雨天等により、一部プログラムの中止や内容、スケジュールが変更になる場合がございますので、予めご了承ください。
※ベット及び飲食物の持ち込み、折畳椅子やブルーシート等の設置はご遠慮ください。

中秋の宴について

琉球王国時代に中国皇帝の使者である冊封使(さっぽうし)を歓待するために開かれた「冊封七宴(さっぽうしちえん)」。

その七つの宴の一つが「中秋の宴」で、旧暦の8月15日に十五夜の中秋の名月の下で行われました。遙か古の歴史を今に感じていただこうと首里城公園では毎年「中秋の宴」を開催しています。当日は正殿の上に登る満月を背景とし、御庭特設舞台にて人間国宝による最高峰の古典芸能(9/22・土のみ)や琉球舞踊、組踊などが無料で鑑賞できます。

宴の2日目にあたる9/23(日)には、首里城祭の「国王・王妃」の公開選出大会も行います。

組踊の歴史

組踊とは、台詞・音楽・舞踊で構成された沖縄独自の歌舞劇です。琉球王国時代、中国に朝貢していた琉球は、中国からの使者・冊封使の歓待は重要な政治課題でした。1719年、尚敬王冊封において踊奉行であった玉城朝薫が、日本本土の芸能を参考に「執心鐘入(しゅうしんかねいり)」「二童敵討(にどうていちうち)」を上演したのが組踊の始まりです。第二次世界大戦後、アメリカ統治下から沖縄県となった1972年に国の重要無形文化財に指定され、2010年にはユネスコの無形文化遺産に登録されています。

S h u r i j o C a s t l e P a r k

M i d - A u t u m n

C e l e b r a t i o n

琉球舞踊

〈古典舞踊〉

琉球王国時代、王の代替わり時にわたってくる中国からの使節、冊封使を芸能でもてなしました。そうして発展した舞踊を古典舞踊といい、首里城内の特設舞台で踊られていたことから、宮廷舞踊ともいわれます。長寿と子孫繁栄を願う「老人踊り」、元服前の少年が踊ることで幸先を寿ぐ「若衆踊り」、恋、愛をテーマに女性の内面の情念を象徴的に表現する「女踊り」、沖縄空手と大和芸能を取り入れた青年の踊り「二才踊り」などがあります。また2009年には、国の重要無形文化財に指定されています。



若衆こてい節 (わかしゅくていぶし)

若衆とは元服前の十五、六歳の少年のことです。未来ある若者が踊ることにより、人生の幸先を寿ぎ、希望、大成、理想が描かれています。「こてい節」の歌の意味は、松は常緑であるように、私たちの生命も長く盛んなれ、と祈る祝儀舞踊です。



作田 (ちくてん)

唐団扇をもって踊る舞。全体は二曲構成で、前段の作田節でしっとり踊り、後段の早作田節では思いを晴れやかに描いていきます。夏の暑い沖縄ならではの風流を感じさせます。日常何気なく使う団扇に感謝しつつ、その送られてくる涼風に心寄せるといったテーマで清々しく踊ります。



苧引 (うべち)

苧引きとは糸引きを意味しています。植物からの糸を取り、染め、布に仕上げるまですべて女性の手仕事でした。布織りなどの作業を描いたものには、「かせかけ」もありますが、小道具を使わず手踊りのみで表現するところがこの踊りの特徴です。



醜童 (しゅんどう)

美女二人と醜女 (しこめ) 二人が踊る、古典舞踊唯一の打組踊りで仮面を用いる踊りです。心の冷たい美女と明るく誠実な醜女を対照的に描いた、ユーモラスな物語性のある踊りです。御冠船踊り (うかんしんうどうい) で最後に踊られたことから「御後段踊り (うぐだんうどうい)」と呼んだと伝えられています。



かぎやで風 (かじゃでいふう)

祝宴の座開きに踊られる祝儀舞踊で、古典舞踊の中でも人々に最も親しまれ、敬愛されている踊りです。人生の喜びを満開の花ではなく、朝露を受けた蕾の花がまさに花開こうとしている風情にたとえ、自然のみずみずしい感性を表現しています。



かせかけ (かしかき)

古典女七踊りの一つ。かつて琉球では、家族の着物を仕立てることは女性の手仕事でした。機を織りながら、愛しい人を思う心が表現されています。糸を巻きつける所作や視線にやさしさと美しさを感じられる踊りです。紅型衣装を右肩袖抜きにして、働く女性を視覚的に訴えています。



上り口説 (ぬぶいくどうち)

琉球王国が薩摩藩に統治されていたころ、王府の役人が首里から薩摩に上る船旅の様子を、凛々しく描いた二才踊り (にせううどうい) です。首里の観音堂で航海の安全を祈る様子や道中の風景を、両手に扇子を持ち勇壮活発に踊ります。薩摩の在藩を歓待する際に踊られたと言われています。



瓦屋 (からやー)

古典女踊りの基本形である「羽羽 (んじふあ)」「中踊り」「入羽 (いりふあ)」の三段構成で、月見を主題にすることから「月見踊り」とも呼ばれました。親指と人差し指で作る「月見手」も特徴のひとつで、月や星、太陽などの自然に対し敬う、先人たちのやさしい心づかいが感じられます。

人間国宝

人間国宝とは、文部科学大臣より認定された重要無形文化財保持者の総称です。無形文化財とは「演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で我が国にとって歴史上又は芸術上価値が高いもの」であり、沖縄県で認定されている人間国宝は全国でも有数を誇ります。今回の中秋の宴では、その人間国宝5名が出演します。豪華な共演をお楽しみください。

知念村知名(現・南城市知念知名)に生まれる。1957年に安富祖流の宮里春行に師事。1977年に安富祖流師範免許を取得。舞踊、組踊、芝居などの地謡として活躍、また創作や独演会などと活動の幅が大きく、1979年文化庁主催芸術祭優秀賞受賞。実演家として高く評価されている。1994年安富祖流絃聲会会長に就任し組織の運営や会員の音楽指導に尽力した。そして、2000年には永年の功績が認められ国指定重要無形文化財「琉球古典音楽保持者」(各個認定)に、2009年には国指定重要無形文化財「琉球舞踊」(総合認定)保持者に認定された。

照喜名朝一



宮城能鳳



南城市佐敷に生まれる。幼少の頃から父(徳村磯輝)に師事し琉球舞踊の手ほどきを受け、15才より玉城源造、宮城流・流祖宮城能造に師事し、組踊・琉球舞踊を本格的に学ぶ。1996年沖縄県指定無形文化財「沖縄伝統舞踊」保持者(総合認定)、2004年度文化功労賞受賞、2005年国立劇場おきなわ組踊伝承養成研修主任講師、2006年国指定重要無形文化財「組踊立方」保持者(各個認定)、2007年沖縄県立芸術大学名誉教授、2009年国指定重要無形文化財「琉球舞踊」保持者(総合認定)、2009年度叙勲旭日小綬章受賞。

城間徳太郎



1933年に那覇市に生まれる。17歳から本格的に沖縄古典音楽に取り組む。1968年に野村流古典音楽保存会師範免許取得。1986年国指定重要無形文化財「組踊」(総合認定)保持者、2005年国指定重要無形文化財「組踊音楽歌三線」保持者認定。1991年には県立芸術大学教授として後継者の育成にも尽力。1999年に沖縄芸能協会会長、2003年から同会相談役となり、沖縄伝統芸能の普及と振興に貢献している。2006年県立芸術大学名誉教授就任。沖縄タイムス社主催芸術選奨奨励賞受賞など受賞多数。

1940年、伊平屋生まれ。1963年に安富祖流の故・宮里春行氏入門し琉球古典音楽を学ぶ。沖縄県指定無形文化財では1996年に「沖縄伝統舞踊」保持者、1999年に「沖縄伝統音楽安富祖流」保持者に認定。国指定重要無形文化財(総合認定)では2001年「組踊」、2009年「琉球舞踊」の保持者となった。県立芸大の教授も務め若手の育成に貢献。2008年から伝統組踊保存会常任理事、安富祖流絃聲会会長。2011年国指定重要無形文化財「組踊音楽歌三線」(各個認定)保持者に認定。

西江喜春



比嘉聰



1952年久志村(現名護市)に生まれる。1971年琉球大学郷土芸能研究クラブ入部。1972年太鼓を島袋光史師に、三線を棚原忠徳師に師事して太鼓と三線を本格的に学ぶ。1988年光史流太鼓師範免許授受。1996年より沖縄県立芸術大学非常勤講師を務め、2015年同大学教授に就任。2005年国立劇場おきなわ組踊伝承者養成研修講師。2015年国指定重要無形文化財「組踊」(総合認定)保持者、2017年国指定重要無形文化財「琉球舞踊」(総合認定)保持者、2017年国指定重要無形文化財「組踊音楽太鼓」(各個認定)保持者となった。師匠島袋光史も「組踊音楽太鼓」の人間国宝であり師弟で認定された。



ユネスコ無形文化遺産

組踊

9月22日(土) 女物狂

踊奉行・玉城朝薫の作品で、朝薫の五番と呼ばれる組踊の代表作のひとつです。別名「人盗人」とも呼ばれますが、王府の演劇である組踊が敵役や悪人・盗賊が主人公になることはありません。しかし、「二童敵討」の阿麻和利や本作の人盗人には芸達者の人物があらわれるのが通例で、鎌を振って子供を脅す場面や、偽の御触書の人相と逆に反応する滑稽さなどは演技力を問われます。

子どもの母親である狂女は、みだれ髪にし、狂い篋(くるいざさ)を持ちます。能の「隅田川」(すみだがわ)「桜川」(さくらがわ)に影響を受け、創作されたとされています。



出演…… 沖縄県立芸術大学 琉球芸能専攻
 指導…… 阿嘉修

【立方】
 人盗人…… 下地 心一郎
 亀千代…… 宮崎 花澄
 母…… 仲嶺 夕理彩
 座主…… 上原 崇弘
 小僧1…… 猪野屋 楓
 小僧2…… 佐辺 良和
 童子…… 金盛 里穂
 童子…… 石嶺 李安
 童子…… 仲宗根 朝子

【地謡】
 歌・三線…… 仲嶺 伸吾
 歌・三線…… 新垣 俊道
 歌・三線…… 棚原 健太
 歌・三線…… 仲嶺 良盛
 箏…… 太田 いずみ
 笛…… 入嵩西 諭
 胡弓…… 又吉 真也
 太鼓…… 久志 大樹

あらすじ

子どもが風車で遊んでいると、人盗人が人形をあげると見せかけ、鎌で脅して人里離れたところまで連れ去ります。

日も暮れ、盗人と子どもは山中の寺に一夜の宿を借ります。子どもは盗人の寝入った隙に、寺の僧たちに助けを求めると、小僧の機転で王府の偽の御触書を読み、盗人を御用にします。

そこへ子どもの母親が、行方不明の子どもの思うあまりに狂女になって現れますが、親子の再会を果たすと正気に戻り、二人は首里に戻ります。

